

February

2

2026

No.758

広報かねやま

KANEYAMA



KAMURO WINTER CAMP

役場第2庁舎 リニューアルオープン

令和8年1月5日

ATMは引き続きご利用可能です



より身近で相談しやすい窓口へ 役場第2庁舎オープンセレモニーを開催

1月5日、金山町役場第2庁舎が旧荘内銀行を再利用しオープンしました。オープンセレモニーでは農業委員会青柳栄一会長のほか、佐藤英司町長と栗田保則町議会議長がテープカットを行い、参列者には開庁を記念し、紅白もちが配られました。第2庁舎には商工観光係を除く農政係、農林整備係、農業委員会が移転し、来庁者の利便性向上が期待されています。



▲テープカットを行った青柳会長、佐藤町長、栗田議長

町民の利便性を第一に設計 より快適な窓口を目指して

窓口の混雑緩和、相談体制強化のため農政係、農林整備係、農業委員会が第2庁舎に移転しました。プライバシーに配慮した相談スペースを設置し、より身近で相談しやすい窓口を目指します。

プライバシー保護の強化



▲パーティションを設置したことで、相談スペースのプライバシー性が高まりました。周囲の視線が入りにくく、これまで以上に安心してご相談いただけます。

訪れやすい窓口へ



▲これまで本庁舎の2階や3階で行っていた手続きが、第2庁舎への移転により、目的の窓口へよりスムーズにお越しいただけるようになりました。

【問 合 せ】 役場産業課 農政係 ☎29-5644
 役場産業課 農林整備係 ☎29-5645
 役場農業委員会 ☎29-5647
 【開庁時間】 8時30分～17時15分 ※土日祝を除く
 【住 所】 〒999-5402
 山形県最上郡金山町大字金山407



February
2
2026
No.758

広報かねやま

KANEYAMA

2月行事予定表

1(日)	神室雪まつり
3(火)	1歳児・2歳児歯科健診
4(水)	すこやか相談 読み聞かせ・お話し
5(木)	心配ごと相談
6(金)	健診結果説明会
7(土)	プレベビーマッサージ
10(火)	乳児健診
16(月)	心の健康相談 心配ごと相談
18(水)	すこやか相談
20(金)	健診結果説明会
25(水)	心配ごと相談 農業委員会総会
26(木)	離乳食講座
27(金)	ベビーマッサージ・ママケア教室
28(土)	マタニティ教室

今月の表紙

1月15日、神室キャンプ場で冬キャンプを楽しむ利用者の皆さんの姿が見られました。「神室キャンプ場は夏場の利用も良いが、冬も圧雪がしっかりしており、冬キャンプもおすすめ出来る」との声が聞かれ、飲食や語らいをしながら楽しいひと時を過ごしていました。



目次

- P3 第2庁舎リニューアルオープン
- P4 新庄南高山校模擬議会
- P6 100周年記念スピンオフ映像
- P8 まちのわだい
- P10 町政NEWS
- P12 お知らせ掲示板
- P14 図書室だより・地域おこし協力隊通信
東京金山会通信・ぶんげい
- P16 金山未来図

副町長室から

副町長 小関 啓幹



昨年1月に町制施行100周年を迎えた金山町。人口減少の進行など、町を取り巻く環境は厳しさを増していますが、次の100年に向けて、明るい光を感じる場面がありました。昨年末の12月17日、新庄南高等学校金山校生による「模擬議会」が開催。「議員」となった生徒は、町の現状をグループでつぶさに調べるなど入念に準備した上で、質問に立ち、町担当課長からも、施策実現に向けた課題や関係者調整が必要になることなど、敢えて難しさにも触れながら、丁寧に答弁しました。私自身、模擬議会には初参加でしたが、建設的なやり取りは、これからの町づくりに大変有意義なものとなるとともに、生徒の皆さんにとっても町や周囲に対する自身の意識を変える大きな学びの場になったのではないかと強く感じました。将来を担う若者は、確かに育ちつつあります。人口減少が進行する中、若者など、町民の皆様「一人ひとり」が、町のことを「自分ごと」として捉え、社会参加することが、何より今後の100年を見据えたまちづくりの「原動力」。これまで当町にその社会参加意識の高さが根付いてきたことは、近年の国政選挙の投票率全国第1位を続けている山形県内でも当町が常に上位であることにも表れていますが、今後もこの高さを維持・向上させることが重要になると考えます。「模擬議会」は2年に1回の開催。学校の取組を、町や周りの大人など、関係者や地域全体でしっかり支えながら、地域の課題解決やより良い社会形成に参画する「行動する町民」の育成にしっかり繋げていかなければ、と強く感じました。

金山町の未来を考える 新庄南高金山校 模擬議会

高校生がまちづくり参政権を有する意義を考えることを目的に、今回で6回目となる新庄南高金山校の生徒と町による模擬議会が12月22日、役場町民ホールを会場に開催されました。金山校2年竹田善議長のもと、6名の高校生議員が、町の課題を的確に捉え、高校生らしいフレッシュな目線で執行部に質問しました。



① 模擬議会では一人15分の持ち時間の中で答弁を行いました



② 生徒の質問に回答する産業課長



▲ 竹田 善 議長(2年)



金山 杉 議員(1年)
※諸事情により仮名・写真非公開

A 町では人的被害は出ていないものの、学校や診療所周辺、住宅近くでの出没があり、農作物被害は全町的に拡大しています。情報提供は全町放送、町ホームページ、タブレットアプリ「ライブビジョン」で随時行っています。住民ができる対策は、生ごみ・果樹の実・ペットフード等を屋外に放置しないこと、山道では鈴や会話で音を出し、早朝・夕方を避けて行動することなどです。町は猟友会に委嘱した有害駆除隊が様々な等で捕獲し、殺処分・解体しています。クマ以外ではイノシシなどによる水稲や畑作物、蛙・水路の被害が多く、捕獲や電気柵設置などで対策を強化しています。

Q クマ出没・被害状況や、町や住民が取れる対策、捕獲・処分方法、他の野生動物被害について、分かりやすく情報提供してほしい。



さいとう はやて 齋藤 駿 議員(2年)

Q 増加するクマを資源と捉え、産業まつり等で熊汁など熊肉料理を提供できないか。法律・衛生面の条件や、他地域の成功例、連携体制を知りたい。

A クマの捕獲・譲渡・販売には鳥獣保護管理法等に基づく免許・県許可が必要で、有害駆除個体でも適正な手続きがなければ提供できません。熊肉は寄生虫リスクが高く、食品衛生法に基づく許可を持つ食肉処理施設での解体が必須で、未許可施設で処理した肉の流通・提供は認められません。また、と畜場法の適用外で全国統一基準もなく、安全性確保は施設依存です。専用施設整備や専門人材確保などのハードルが高い中で、他地域では和歌山県古座川町、高知県四万十町、長野県木曾地域などがジビエ活用に成功しているようです。関係団体と連携を図りながら時間をかけて研究していきたいと考えます。

Q 町内の観光施設等へのフリーWi-Fi拡充と、金山校前バス停付近へのベンチ・屋根付き待合スペース設置は可能か。また自作ベンチの活用は可能か。

A 町内では一部公共・交流施設にフリーWi-Fiを整備済みで、交流サロンぽすと等で利用されています。今後、マルコの蔵(東蔵)への設置を計画しており、大堰公園は利用状況を見ながら検討します。新規設置には機器費・通信費や犯罪悪用リスクもあるため、管理者や事業者と協議し、利用者数などを踏まえ優先度を付けて進めます。ベンチは歩道上は国の道路占用基準で難しい一方、町所有の学校用地(芝生部)なら高校や警察と安全面を協議したうえで設置の余地があります。金山杉や自作ベンチも、耐久性と安全性を満たすことを条件に検討可能です。



金山 花 議員(1年)
※諸事情により仮名・写真非公開

Q コンビニのフリースペース撤去でバス待ちや交流の場が減った。学校近くに室内の共有スペースを新設できないか。

A 学校近くには現在、コンビニ2店と中央公民館図書室がありますが、両コンビニともイートインはなく、店舗改修や本方針等から新たな共有スペース設置は難しい状況と聞いています。町として金山校近隣に新たな施設を建てる計画は今のところありませんが、旧中央公民館跡地に子育て・多世代交流・放課後支援等を目的とした地域振興施設(仮称)を整備予定で、高校から約880mの場所に交流・フリースペースを設け、高生の利用も想定して検討中です。また、中央公民館やマルコの蔵、ぽすと等の既存公共施設の積極利用を促します。あわせて、金山校内の空き教室を使った「学校内の居場所づくり」が実現できないかも検討してほしい。

Q 金山川河川公園の道・階段等を完全に整備し、スキー部練習や町民のジョギング・ウォーキングがしやすい河川敷にできないか。



金山 川 議員(1年)
※諸事情により仮名・写真非公開

A 金山川河川公園はミニゴルフや遊具、グラウンドゴルフなど多目的に利用されており、既に園路には排水性アスファルト舗装の遊歩道が整備されています。老朽化した木製階段等は、河川管理者である県と協議しながら、危険箇所から順次修繕していきます。一方、ローラースキー向けに全面を滑らかな舗装へ打ち替えると高額な費用や大規模工事、芝生広場の縮小などの課題もあり、河川管理者との詳細調整が必要となります。歩行者用と練習用を分ける場合も既存利用者の理解が不可欠です。町としては、多様な町民の意見を聞き、必要な機能を整理したうえで、段階的に改善を検討します。



たざわ しお 戸澤 志緒 議員(2年)

Q 夜間の安全確保のための街灯増設、通学路の歩道除雪の在り方、高校生の除雪参加の可否、凍結防止剤の環境影響や凍結対策について知りたい。

A 街灯には道路照明灯・公園照明灯・防犯灯があり、場所や目的で管理が異なります。公園灯は22時で消灯し、防犯灯は各地区の要望で設置し、機器は町が支給、電気料金等は地区負担です。歩道の除雪は町道と県との交換路線を合わせ約4.5kmを、小型除雪車2台で行い、15cm程度の積雪で出動します。診療所側歩道は、車道の雪置き場確保の観点から除雪しておらず、車幅確保を優先しています。歩道除雪は危険作業のため、町が実施し、高校生にはこれまで通り高齢者宅除雪など別の形での地域貢献を期待します。凍結防止剤は国の見解では大量の雪で希釈され環境影響は小さいとされています。

りゅうの時間

金中生が「音」で紡ぐ
100年への想い

町制施行100周年記念式典で、記念映像「金山の道、百年の光。」を公開し、あわせて記念映像の主題歌として、記念楽曲「りゅう」が公開されました。

金山のくらしに溢れる「金山の音」や目を閉じれば聞こえる懐かしい声。そうしたふるさとの音や声、記憶が、101周年目の新たな時代の一步を踏み出す力になってほしい。そんな想いを出発点に、金山中学校の生徒を主体とした楽曲・映像制作の取り組みが始まりました。

本作「りゅうの時間」では、生徒たちが町民や講師、アーティストなど多くの人と出会いを通じ、言葉や魅力、耳を澄ませる中で、町の歴史や魅力への理解を深め「自分たちの金山」を表現していく姿が描かれています。

授業は全3回。金山中学校3年生の生徒が中心となり、「町の音」をテーマに、歌詞の読み解き、フィールドレコーディング、そして楽曲制作に取り組みました。金山町を思い、合唱祭という舞台に向けて積み重ねてきた生徒たちの成長の証をぜひご覧ください。

授業 1

100周年記念楽曲「りゅう」の歌詞をもとに、金山町の「音」に着目して、まちの魅力を探る授業を実施しました。



6月10日(火) 中学3年生対象

授業 2

町内各所を巡り150個以上の「金山の音」を集めました。



7月23日(水) 中学3年生対象

授業 3

前回の授業で集めた「金山の音」を使い楽曲制作に挑戦しました。楽曲の制作を通じて自分らしい金山を表現しました。



8月28日(木) 中学3年生対象

合唱祭

「りゅう～百年先の金山へ～」をスローガンに掲げ、金山中学校で合唱祭が開催されました。学年ごとの合唱発表のほか、100周年記念楽曲「りゅう」の全校合唱が行われ、金山町がこれまで歩んだ歴史と、これからの金山町の未来への想いをのせ、歌声を響かせました。



10月25日(土) 全校生徒対象

100周年記念スピノフ映像

「りゅうの時間」

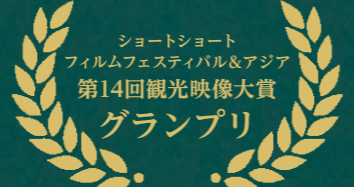
3/8(日) 公開

上映会開催決定



映像は「りゅう」

スピノフ映像「りゅうの時間」の制作のきっかけとなった、町制施行100周年記念映像「金山の道、百年の光。」は国内に限らず、国際的な短編映画祭で高い評価を受けました。



町の魅力を「音」から探り
町の歴史や伝統に触れる



生徒代表
しばた こはる
柴田 心春 さん

この映像のみどころは、「音」です。実際に町内のいろいろな場所へ行き、「町の音」を集めました。撮影を通して、町の歴史や伝統に触れ、貴重な体験ができました。「りゅうの時間」は100周年記念映像やアニメーションとは違う角度で町の魅力を知ることができる作品です。ぜひご覧ください。

子どもたちの輝く日常と
「りゅう」を創りあげる特別な体験



金山中学校
あじき しゅういち
安食 秀一 校長

合唱曲「りゅう」を創りあげていく過程は、金中生にとって確かに「特別な体験」でした。この「りゅうの時間」の映像は、子どもたちがこんなにも「日常」を美しく過ごしていたのだと気付かせてくれるものでした。子どもたちの輝く日常を、美しい金山の風景と共にご覧ください。

一人一人が輝く主人公
それぞれの思いをのせて



監督
すざうら ほなみ
杉浦 穂奈実 さん

「金山の道、百年の光。」では「絃美」という中学生が主人公でしたが、今回は金山町の本当の中学生一人一人が主人公となって輝いてくれました。町の風景から生まれた「りゅう」という曲にそれぞれの思いが重なり、巡っていく、そんな素敵な時間が映像の中に流れていると思います。

ふるさとへの愛
生徒の成長の歩みを描く



町教育委員会
すずき ひでし
鈴木 英樹 教育長

言葉を紡ぎ、金山の音に心を躍らせ、今まで見えなかった街をそれぞれが見つけ出した特別授業。「りゅう」は、金山を吹き抜ける清々しい風になり、ふるさとへの愛が膨らんだ生徒の成長の過程をぜひご覧ください。

**写真3,500点を町に寄付
伊東忠次さんに感謝状を贈呈**

新 庄市在住で写真愛好家の伊東忠次さん(十日町出身)より、これまで長年にわたり撮りためた金山町の豊かで美しい風景写真約3,500点を町へご寄付いただき、12月9日に、ほしかわひろき星川広喜金山町観光協会長より感謝状の贈呈が行われました。自然や町並み、四季折々の美しい景色を今に伝える貴重な記録であり、現在は金山町観光協会のSNSを中心に情報発信や観光PR素材として幅広く活用されています。



▲金山町観光協会
公式Instagramはこちら

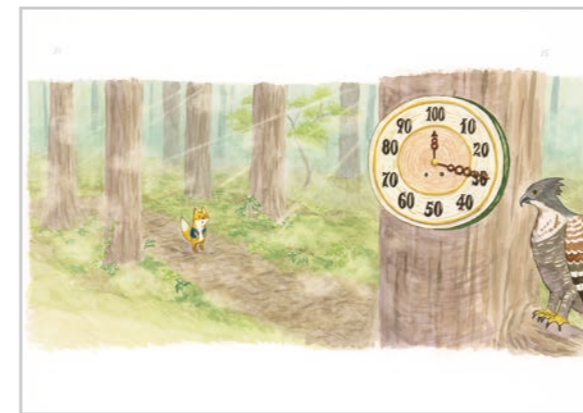
**東京都世田谷で山形金山市場を開催
約300名が来場**

11 月16日、タタハウス(東京都)で「山形金山市場～尾山台まるごと金山マルシェ～」が開催されました。8月、9月の関係人口スタディツアーの成果として、東京都大の学生による新スイーツの販売や、首都圏在住の参加者が制作した杉の端材アクセサリーを展示販売し、約300名が来場しました。ビーナッツ製品など金山の特産品も販売され、「初めて金山町を知った」「また金山市場に来たい」と好評の声が聞かれました。



**金山町の森林や林業を後世へ
100周年記念絵本を作成**

町 制施行100周年記念事業として、森林環境譲与税を活用し、金山町の森林や林業の啓発絵本「こんちゃんのボタン」を作成しました。町の木「金山杉」や町の鳥「クマタカ」、町の花「かたくり」などが登場する金山町を舞台に、キツネのこんちゃんが無くしたボタンを探しに町内を巡る物語になっています。作成された絵本500冊は認定こども園めぐたまや小学校へ寄贈し、森図書や中央公民館、子育て支援センターにも設置予定となっています。ぜひご一読ください。



一般社団法人
脱炭素推進協議会
たかはししんや
高橋伸也 代表理事

**制作の過程で見つけた
「宝物」を大切にしていきたい**

当法人は森林由来の脱炭素について啓発活動等を行っています。金山町の美しい町並みと自然に感動し、金山の人々に出会い、長くて広い視野が実現の秘訣だったと感じています。「こんちゃんのボタン」で見つけた宝物を、当法人も大切にしていきたいと思っています。

**園に絵本150冊を寄贈
佐藤町長による読み聞かせを実施**

1 月6日、認定こども園めぐたまで100周年記念絵本「こんちゃんのボタン」の寄贈式が行われました。寄贈式では、さとう えいし佐藤英司町長から代表園児2名に150冊の絵本が贈られ、佐藤町長による読み聞かせが行われました。読み聞かせを聞いた小野真穂ちゃん(山崎)は「こんちゃんのボタンが時計にぴったりはまったので良かったなと思いました」と嬉しそうに感想をのべました。



町の魅力を「食」で学ぶ 松澤信矢さんが町へお米28kgを寄付



▲米28kgを寄付した松澤信矢さん

1月20日、金山小学校と金山中学校で「金山町のふるさと納税品を味わおう献立」がふるまわれ、心を育む学校給食週間にちなみ金山産つや姫ごはんと栄家の肉シウマイ、米の娘餃子、米の娘豚の豚汁などが提供されました。金山産つや姫は松澤信矢さん(三枝)が無償で提供したもので、松澤さんは「食べた人が幸せだと感じてくれるような安全安心な米作りをこれからも続けたい」と想いを語りました。

年頭集會を開催 無火災・無災害の1年を祈願



▲消防団各部を前に、訓示を述べる柴田純一団長

1月11日、町農村環境改善センターで「令和8年金山町消防団幹部年頭集會」が開催され、班長以上の消防団幹部と消防署金山支署長が参加しました。柴田純一団長の訓示、佐藤英司町長の挨拶、そして、丹大輔第七分団長による「防火の誓い」が終わると、第1分団から第9分団の消防車両が町内をパレードし、火災予防について周知をうながすとともに、今年1年の無火災を祈念しました。

子どもたちの安全のために 白岩土木建築 冬期交通安全教室



▲除雪車の危険性を学ぶ園児らと保育士

12月23日、認定こども園めぐたまの駐車場で白岩土木建築株式会社主催の「幼児のための冬期交通安全教室」が開催されました。この企画は冬期の交通事故撲滅を目的として20年以上前から実施されており、今年度は年長児26名が参加しました。星川学専務取締役は「これからも金山の子どもたちのために、除雪車の危険性や冬期の交通ルールを伝えていきたい」と想いを語られました。

子どもたちの元気な声が響く 三枝地区大又で山の神勸進



▲元気に伝承歌を響かせる男子児童

12月7日、三枝地区大又で江戸時代から伝わるとされる伝統行事「山の神勸進」が開催されました。小学生6名の男子児童が神社に保管してある御神体を持ち運びながら地区内の約40軒を訪ね、「山の神の勸進」と元気に伝承歌を唱えました。訪問を受けた家では御神体に対し、五穀豊穡と家内安全を祈り、伝承歌とともに地域に年の瀬の訪れを告げました。

伊藤貢さんが叙勲「旭日単光章」を受章 永きにわたり町の発展に寄与



▲旭日単光章を受章された伊藤貢さん

1月26日、役場町長室で伊藤貢さん(朴山)への叙勲「旭日単光章」伝達式が行われました。伊藤さんは昭和62年5月に金山町議会議員に初当選され、通算3期12年の長きにわたり在職されました。在職中は、住民福祉の向上や地域の活性化に尽力されるとともに、地域における農業者の代表として豊富な見識を発揮し、農業振興にも大きく貢献されました。これらの功績が認められ、今回の受章となりました。誠にありがとうございます。

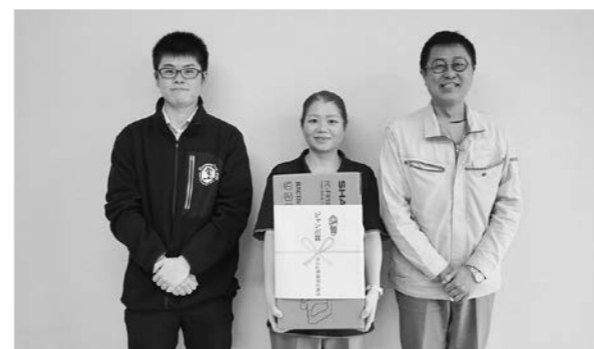
星川恵子さんに 人権擁護委員委嘱状交付



▲山形地方務局新庄支局 西塔清支局長(左)、星川恵子さん(中央)、佐藤英司町長(右)

1月14日、星川恵子さん(漆野)が法務大臣の委嘱を受け、人権擁護委員に新任されました。人権擁護委員は小・中学校で行われている「人権の花運動」や「人権書写展」を通じた人権啓発活動のほか、相談業務や研修への参加など1年を通して活動しています。金山町には星川恵子委員を含む3名の人権擁護委員が活動しており、日々の暮らしの中にある人権課題に目を向けながら啓発と相談支援に取り組んでいます。

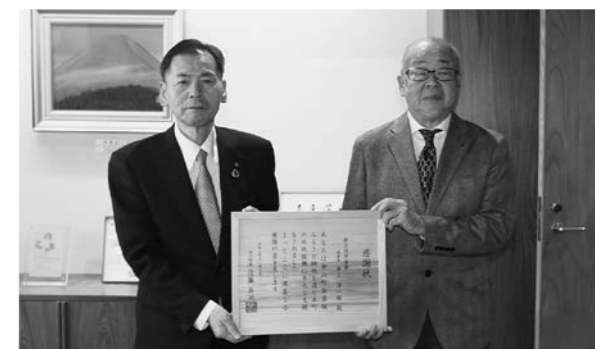
下3桁一致でジャンボ賞当選 アキレスエアロン(株)がジャンボ賞を獲得



▲左から役場健康福祉課柴田主事、近岡さん、高橋さん

12月分ジャンボ賞で、山形アキレスエアロン株式会社の近岡あゆみさん(七日町)がワイヤレス掃除機を当選・獲得しました。近岡さんは「事業を通じてジムに通うようになり、食生活も意識するようになった」と喜びを語りました。また、事務員の高橋満さん(板橋)は「秋はクマと遭遇してしまったため、一時的にウォーキングは控えていたが、冬期間は健康づくりのためウォーキングを行いたい」と、今後の健康促進への想いを語りました。

企業版ふるさと納税50万円を寄付 新庄信用金庫へ感謝状を贈呈



▲佐藤町長(左)、新庄信用金庫 井上洋一郎理事長(右)

12月10日、町の地方創生事業に賛同し、企業版ふるさと納税により50万円の寄付をいただいた新庄信用金庫(新庄市)の井上洋一郎理事長へ、佐藤町長から感謝状を贈呈しました。寄付金は落花生を中心とした園芸農業育成支援事業に活用させていただきます。また、新庄市の株式会社東日本電化(田中直彦代表取締役)からも寄付を頂戴し、町の地方創生プロジェクトへ活用させていただきます。誠にありがとうございます。

農事関係座談会の開催について

令和7年度の農事関係座談会を以下のとおり開催します。「地域の農地を今後どうしていくか」を話し合う場になりますので、耕作者だけでなく、農地の管理に困っている非農家の皆さんもご参加いただきますようご案内いたします。

- 【場 所】** 金山町中央公民館(農村環境改善センター) 多目的ホール
【日 時】 2月17日(火)～2月19日(木) 18時30分～20時30分
【内 容】 第一部：「生産の目安」等説明会
 第二部：地域計画の説明会(目標地図更新に向けた話し合い)

日 程	割 当 (地区別)
2月17日(火)	十日町、羽場、田屋、魚清水、七日町、内町、飛森、下野明、中下、檜台、松ノ木、片貝安沢、田茂沢、蒲沢、稲沢、宮、下向、柳原、入有屋
2月18日(水)	山崎、上台、凝山、大又、持越
2月19日(木)	荒屋、朴山、板橋、長野、谷口、菅越、下中田、上中田、外沢、杉沢、小蟬、漆野、春木

【問合せ】 役場産業課 農政係 ☎29-5644 金山町農業委員会事務局 ☎29-5647

金山町育英会奨学生募集

金山町育英会では、学業に意欲があり将来の目標に向かって努力する学生を支援するため、奨学生を募集します。選考は提出書類による審査及び保護者同伴の面接を行い、総合的に判断して奨学生を決定します。

- 【対 象 者】** 町内に住所を有する者の子弟であって、学校教育法に規定する4年制大学、短期大学および専門学校に在学、または進学し、成績優秀(高校の評点が概ね3.5以上)、品行方正な者。
- 【貸 与 額】** ①4年制大学…4万円/月 ②短大・専門学校等…3万円/月
- 【貸与期間】** 在学する大学・短大・専門学校等の最短修業年限の終期まで
- 【申込方法】** 提出書類等の様式は金山町育英会事務局(中央公民館内)にあります。詳細は町のホームページをご覧ください。
- 【募集期間】** 前期募集：令和8年1月23日(金)～令和8年2月20日(金)
 後期募集：令和8年2月24日(火)～令和8年3月23日(月)
- 【問 合 せ】** 金山町育英会事務局(中央公民館内) ☎32-0075 ※祝日除く 月～金 8時30分～17時



◀町ホームページ
はこちら

賑わいのある公共施設をめざして 新しい施設管理者が決定

令和8年度から令和12年度までの5年間、「グリーンバレー神室一帯施設」と「街角交流施設マルコの蔵・大堰公園休憩所」を管理する指定管理者が決定しました。施設の維持管理に加え、提案された事業計画に基づき、新たな魅力づくりと利用促進を進めます。町も指定管理者と連携し、町内外から多くの方に来訪いただき、交流が広がるよう運営を行っていきます。



施設名 街角交流施設・大堰公園休憩所
指定管理者 株式会社 金山の未来

にぎわいのある場所を目指し、町内外から多くの来訪者を迎え、金山の魅力を感じられる場を育てます。特産品の紹介、展示、喫茶スペースの継続を前提にしながら、町の活性化のために頑張りたい人を応援する新たな取り組みも行い、町民に長く愛される施設を目指します。

株式会社 金山の未来 代表取締役 ^{さわのみか} 澤野美香さん



町民の皆さんから受けた温かさや支えを、施設運営を通してお返ししていきたいと思っております。地域おこし協力隊の経験を生かし、町民の皆さんにとって、より身近で誇れる場所になるよう施設管理に努めます。

【問合せ】
 役場環境整備課 管理係
 ☎29-15627
 マルコの蔵
 ☎32-11212

施設名 グリーンバレー神室一帯施設等
指定管理者 ライズ・大平ホテル共同事業体

令和8年4月より「小さな隠れ家リゾート」として再始動します。ペット同伴客室や雪遊び場の新設、グリーンデ頂上での「天空キャンプ」、地産地消の推進や音楽祭開催が柱です。地域と連携し、年間10万人の来訪と雇用創出を目指します。

株式会社 ライズ 代表取締役 ^{わしおすすむ} 鷺尾 晋さん



再生ノウハウとおもてなしを融合し、ペット対応施設や天空キャンプ、ツリーラン等の感動体験を創出。金山町の自然・食と連携し、町全体をリゾート化し、10年後を見据えた地域活性化と雇用創出に挑みます。

【問合せ】
 役場産業課 商工観光係
 ☎29-15640
 株式会社 ライズ山形支店
 ☎0901416516961

東京金山会通信

【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山 ☎080-5525-0435

No.82 最上地域ふるさと連合会総会報告

11月29日、アートホテル日暮里ラングウッドで「最上地域ふるさと連合会総会」が開催されました。当日は首都圏の最上地域各ふるさと会関係者が参加し、東京金山会からも13名が出席しました。さらに、最上地域1市4町3村の首長が全員出席し、金山町からは佐藤英司町長が出席するなど、盛会のうちに終わりました。総会では、各首長から地域の近況報告とあいさつがあり、令和6年7月の豪雨災害からの復興状況や、これまでの支援への謝意が述べられました。また、東北中央自動車道の延伸や、国道47号「みちのくウエストライン」の整備など、地域を取り巻く状況についても報告がありました。あわせて、各地で深刻化しているクマ被害への対策についても、多くの話題として取り上げられました。当日の司会進行は、山形県出身でTBSラジオなどで活躍するフリーアナウンサーの片桐千晶さんが務め、式全体は終始なごやかな雰囲気のもと進行されました。なお、総会開催にあたっては、東京金山会も配布資料の準備や会場運営などを通じて協力し、円滑な進行を支えました。

総会後の懇親会では、大正大学太鼓部による力強い太鼓の実演に加え、富士きぬ子さんの歌謡ショーが披露され、参加者は交流を深めながら和やかなひとときを過ごしました。

東京金山会では、ふるさと連合会



▲佐藤英司町長あいさつ



▲各首長とふるさと会役員の集合写真

をはじめ、今後も最上地域の関係団体や自治体と連携し、地域と首都圏をつなぐ架け橋として、最上・金山の応援を続けてまいります。

図書室だより

今月のおすすめの2冊はこちら



◀新刊本情報はこちら

入浴それは、世界一簡単な健康習慣 早坂信哉/アスコム



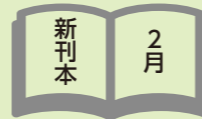
入浴は健康の土台づくり。入浴の習慣だけでさまざまな不調が改善されるなら、とても身近で安価だろう。正しい入浴の仕方でも健康寿命が延びる！季節や体の不調に合わせた入浴方法を！血流改善、体温上昇、安眠、免疫力&集中力アップ、自律神経の安定、美肌、全部叶える！

一年一組せんせいあのね 鹿島和夫・ヨシタケシンスケ/理論社



学校の先生と担任した小学1年生の子たちとの交換日記から生まれた作品。クスッと笑えるもの、ジーンと胸をうつもの、子どもたちから生まれた言葉がヨシタケシンスケ氏の絵とタッチを組み、更に子どもたちの言葉に心が揺さぶられる。子どもの感性は人の心を温かくする。

今月は10冊



※() 内作者名

一生使えるマナーと作法(明石伸子) / 入浴 それは、世界一簡単な健康習慣(早坂信哉) / 成瀬は都を駆け抜ける(宮島未奈) / あちこちが痛い！が自分で治せる一生役立つ痛みほぐし地図大全(北原雅樹) / 一年一組せんせいあのね(鹿島和夫・ヨシタケシンスケ) / 作ってみたい 伝承のちりめん細工とつるし飾り(井上重義) / クリスマスおぼけ(せなけいこ) / はたらくるまたちのクリスマス(シェリーダスキーリンカー) / 十二支のはじまり(いもとようこ) / 頑張っている親と支援者へ贈る(石川充・齋藤なか・伊藤みさ・水原元)

森人の暮らしに出会う旅、最上



◀日々の活動の様子は Instagramで発信中です



地域おこし協力隊 澤野 美香

こんにちは、地域おこし協力隊2年目の澤野美香です。現在、最上総合支庁観光室を中心に、金山町役場産業課、シエーネスハイム金山、そして最上管内の地域おこし協力隊の皆さんと連携し、インバウンド向けの旅行プランづくりに携わっています。

私たちが目指しているのは、名所を巡る観光ではなく、「森と生きるこの土地の人・暮らしの魅力を感じる旅」です。山岳信仰という庄内地方のイメージが強いかもしれませんが、最上地方にも、自然と共に生きてきた信仰や暮らしの文化が息づいています。山に入ることは祈りであり、自然と向き合う行為でもありました。登山やスノーシューなどのアクティビティは、そうした背景を感じてもらうための入口だと考えています。

最上は自然豊かな土地である一方、冬は豪雪という厳しさもあります。だからこそ、人のあたたかさや際立ちます。寒さの中で火を囲み、言葉を交わし、食卓を共にする。藍染体験やメープルサップの採取など、季節の巡りとともに楽しめる営みも、この地域ならではの魅力です。私は主に「食」のコンテンツを担当しています。最上の食材で整えた欧米の方が好む朝食や、山岳信仰のエッセンスを感じる朝食などを通して

て伝えたいのは、食材そのものの美味しさだけではありません。そこにある風土や、人の手の存在です。そして、誰と、どんな場所で、どんな気持ちで食べるのか。その時間こそが旅の記憶になると感じています。現在は冬を軸にしたプランづくりが中心ですが、今後は季節ごとの魅力を生かした、通年型の旅へと発展させていく予定です。世界からの注目が高まる今、金山、そして最上の魅力を、地域の皆さんと一緒に伝えていく取り組みがますます重要になっていくと感じています。

外国から訪れる方が、金山町内での何気ない買い物や、皆さんとのやりとりの中でもあたたかさを感じられる。そんな風景が、この地域にも自然と広がっていくことを願っています。



▲マルコの蔵で行われた町の歴史勉強会の様子

ぶんげい

金山杉俳句会 第五〇七回

眠れぬ夜そっと外見る 嚙の町
窓見れば雪の結晶レース也 阿部 一代

着膨れの吾から逃げる自動ドア
峡晴れて師走の大安町光る 星川 キエ子

馬年の賀状に跳ねる墨をひく
木洩れ日に揺れる錦秋露天の湯 高橋 洋子

冬帽子捜して納戸の奥深く
雪もよいより目になりし目玉焼き 岸 昭子

身の丈の暮らしにもなれ冬至粥
煮返しのお餅大根の昼餉かな 鶴沼 よし子

一枚のはがきの中の猛吹雪
綿虫や旧き名の俣残る町 栗田 弥超

かねやま紅風会

老ひ一ツ母に似て来る初鏡
夫も無く年越ソバをすすする夕
朝刊のレシビ切取る小正月 荒屋 阿部 勝子

葉牡丹や狭庭を飾る雪の花
年の瀬に語る夕べも夢の跡
思い出の君との出逢いクリスマス 荒屋 関 喜美子

日記買ふ空白無しを誓いけり
初売や呼声高く値切る客
恙無く無病息災冬至粥 菅越 庄司 けみ子

夜の静寂夫亡き後の寒さかな
吊り縄の紅葉にかかる雪の花
大雪の報にたぞろぐ一日かな 七日町 青柳 キエ子

春三年夫婦絆の強さかな
夢枕不安に急ぐ雪の道
面会や早まる胸を撫でおろす 上台 阿部 一步

金山町町制施行101周年記念企画

かねやま未来図

町制施行100周年を迎え新たな一步を踏み出した金山町。「金山の未来」をテーマに各地区からご寄稿いただきました。この節目の年に金山町の未来の姿を想像し、共に希望に満ちた地域社会を築いていきませんか？



▲8月14日に行われる「お山掛け」

稲沢の文化を継承し地域づくり

稲沢地区 区長 たん まさゆき 丹 正之さん

稲沢地区においても、戸数の減少や高齢化が進んでおり、今後、共同作業や地区行事などの運営に支障が生じてくることが予想されます。また、予算策定においても、全体的な縮小傾向は避けられないものと思われます。そのような状況の中、組織や事業の集約・見直しを進めつつ、地区の皆さんのご協力をいただきながら、各団体への助成および地区事業の実施内容の充実を図り、地区として団体活動や事業を守り、継承していくことに注力しています。あわせて、先人の方々が長年にわたり受け継いでこられた、地区の有形・無形の文化や事業を守り、維持していくことの大切さを改めて認識しています。延宝8年建立の不動尊をはじめ、10か所に及ぶ神社、地藏堂、忠魂碑、約600年以上の歴史を刻み伝承を続けている稲沢番楽、竜馬山信仰に伝わる十二の神々が座する参道を参拝する「お山掛け」などの継承に、地域づくりの施策の一つとして努めてまいります。

【地区】 63世帯/198名 ※令和7年12月末時点

地区の伝統とこれから

魚清水地区 区長 いまむら ゆきお 今村 幸夫さん

当地区の公民館は他の公民館にない特徴があります。それは糖塚会館(昔の集会場)という建物を公民館にしたという珍しい経緯があります。そこまでの道のりは大変難しく複雑で、何年もの月日がかかり、苦勞した思いがあります。6月にはその公民館で三社祭(糖塚稲荷、切り通し権現、山の神)という行事が受け継がれています。昔のような格式はなくなり、簡素化してしまいましたが、それも伝統ある一つの大切な行事となっています。また、魚清水は水田に大事な水路の一番上流に位置する地区になっています。未来を見据えると、草刈り、清掃など当地区だけの努力では少子高齢化で限界もありますが、出来る範囲で行っている状況です。様々な事業に取り組む面では少ない方だと思いますが、地域の活性化に向けたアイデアを出し合い皆で協力する姿勢を大事に、これからも事故や災害のない地域にしていければと思っています。

【地区】 17世帯/48名 ※令和7年12月末時点






▲魚清水公民館

編集 後記

2月1日は「如月」とも呼ばれ、寒さで衣を重ね着する「衣更着」が語源の一つと言われています。2月4日に「立春」を迎え、暦の上では春ですが、とはいえ実際の体感是一年の中でも特に寒さが厳しい季節です。寒い冬を乗り越える豆知識として、湯たんぽやカイロはお腹の他に腰(仙骨まわり)を温めると全身が温まりやすいそうです。さらに、首・手首・足首の「3つの首」を守ると体感がぐっと暖かくなります。冷えて血流が悪くなると、免疫の働きが十分に発揮されにくくなることがあります。あたたかい飲み物や入浴、適度な湿度で体調を整え、元気にこの冬を乗り越えましょう。

金山町の人口は、4,565人 (12月末現在)

	男性	2,260人 (1)	▼12月の異動 出生 1人 死亡 5人 転入 10人 転出 8人
	女性	2,305人 (-3)	
	世帯数	1,675世帯	